



# さしがや保育園 アスベスト健康対策等 専門委員会ニュース

VOL.7

発行者：文京区立さしがや保育園アスベスト健康対策等専門委員会  
事務局 文京区男女協働子育て支援部保育課保育係：東京都文京区春日1丁目16番21号  
電話 03-5803-1189 Eメール [ab311500@city.bunkyo.lg.jp](mailto:ab311500@city.bunkyo.lg.jp) 2010.12.28 発行

平成22年10月8日に第23回さしがや保育園アスベスト専門委員会が開催されました。

- ・高校入学時健診のX線写真の読影
- ・真砂中央図書館にアスベスト関連図書コーナー開設

## 1 高校入学時の胸部X線写真を専門員会の医師が読影してくれます。

要綱に示してあるとおり、高校入学時健診のX線写真を、アスベスト関連疾患に経験のある医師に読影（病気がないか医師が確認すること）してもらうことができます。子どもたちの健康チェックができますし、そのX線写真を事務局が保管することで将来のX線写真と比較することができます。是非ご利用下さい。

対象： 中学校を卒業する方で、希望者。

高校進学されない方で、受診の折にとったX線写真をお持ちの方。

入学時はしなかったが、その後読影して欲しくなった方。

方法： 該当者には来年度に説明会（4～5月を予定）ご案内が届きます。

説明会に参加できない方には文書でご案内が行きます。

希望者は、高校入学時撮影した胸部X線写真のコピーを学校や健診機関からもらい、事務局に提出して下さい。コピーがスムーズにもらえるよう、専門委員会から学校・健診機関宛てに、依頼文書が案内に同封されています。

費用： 無料。写真のコピー費用や送料は文京区が全額助成します。

## 2 真砂中央図書館にアスベスト関連図書コーナーができます。

委員会からの要請で、平成23年4月ごろに、真砂図書館にアスベスト関連図書のコーナーを設置して頂けることになりました。これは、アスベスト災害を二度と起こさないようさしがや保育園の災害について記録を残すと共に、区民のみなさまにアスベストについて知って頂くことを目的としています。専門委員会で検討し保育課予算で購入した図書や、真砂中央図書館が購入したアスベスト関連図書が置かれます。蔵書リストは保育課のホームページで公開されます。

## 3 解体工事や店舗改装によるアスベスト飛散に注意

あちこちでアスベストを含む古い建物の解体や店舗改装が行われています。適切な工事を行わないとアスベストが飛散することがあるのでご注意ください。ご心配な時は、工事現場の住所を控えて、シビックセンターの環境政策課・指導担当（直通 5803-1260）へ相談しましょう。

### 3. 文京区のさしがや保育園災害へのとりくみが東京新聞に掲載されました。

#### 追及アスベスト1 園児襲ったずさん解体 99年飛散事故「風化させるな」

ベニヤ一枚で仕切られた隣の工事区画から、保育室に白い粉じんが流れてきた。逃げ出す園児たち。「外に出ては危ない」と保育士が連れ戻した。アスベスト(石綿)が漂う部屋に -。

1999年7月、東京都文京区の区立さしがや保育園の改修工事で、アスベスト飛散事故が発覚した。工事前は「使っていない」とされていたアスベストは、保護者の指摘で存在が判明した。区は「アスベストが吹き付けられている天井には触らない。現場を密閉する」といったが、実際には天井は壊され、仕切りには目張りがなく、閉め切るはずだった窓もたびたび開けられた。

この工事で0~5歳の園児108人が大量のアスベストにさらされたとされる。当時、子どもを預けていた母親の一人は「区の職員は毎日現場を訪れ、アスベストを除去する事実も知っていた。でも、危険性を理解できなかった」と振り返る。

区は監督不十分だった責任を認め、謝罪した。そして、原因究明と健康対策のため、医師や大学教授らによる検討委員会を設置。検討委は業者の聞き取りを基に作業を再現し、当時の飛散濃度を推定した。前例のないケースだったが、研究データを集め、4年がかりで園児たちの健康リスクを数値化した。「最大で十万人に六・三人」。報告書は園児が将来、アスベストによって肺がんや中皮腫を発症する確率をこう結論づけた。有害物質で何らかの対策が必要とされる「十万人に一人」という危険レベルを超える値だ。

区は発症した場合の補償を約束したが、発症すれば生命にかかわる。母親は「娘は30歳で死ぬのかと、泣いていた。今も子どもがせき込むと不安だ」という。「区にとってもショックだった」。久住智治・同区子育て支援課長が顔を曇らせる。報告書は事故の背景として、職員のアスベストに関する無理解や行政内部の連携不足を指摘した。当時は環境対策関係の職員でさえ、アスベストの現場に入った経験がなかった。区はその後、保育園で工事があると園児を避難させるようにした。区内の解体工事は規模にかかわらず届け出を求め、すべての現場に職員を派遣し、アスベストを扱う場合は特に指導を徹底。検討委メンバーで、NPO中皮腫・じん肺・アスベストセンターの永倉冬史事務局長は「まだ十分ではないが、この程度もできていない自治体は多い」と話す。この報告書は学校や保育園でのアスベスト事故対応の“聖書(バイブル)”として多くの自治体が参考にした。区では環境対策課などアスベストにかかわる部署に異動してきた職員に、今もさしがや事故を教訓として教える。久住課長は自らを戒めるように語る。「風化させてはいけない。命の問題として、危機意識を持ち続けなければ」。さしがや保育園の事故から十一年。この間、2005年に石綿工場周辺の住民に多くの健康被害が発覚した「クボタショック」で被害者救済などアスベスト対策は進み、解体や改修現場の規制は強化された。しかし、ずさんな解体は多く、自治体の認識や対応にも温度差がある。建設廃材を再利用した「再生砕石」には、いまだにアスベスト建材片が混入する。主な混入源とみられる解体現場を通して、アスベスト問題の“いま”を考える。

(2010年11月19日 東京新聞 朝刊 社会部 加賀大介記者)

\* 東京新聞さまの許可を頂いて転載しています。

### 4 来年度の健康リスク相談・心理相談 次回予定：3月26日(土)PM

ご案内が届きますので、ご希望の方は同封の申込用紙でお申し込み下さい。

なお、何かご心配のある場合は相談の開催時期にかかわらず、事務局かアスベストセンターにご連絡ください。専門委員会が対応いたします。

### 5 もう健康手帳はもらいましたか？

健康手帳はお子様の健康と権利を守ります。この機会にぜひお受け取り下さい。

協定を締結した方： 86人

健康手帳を受け取った方：79人

請求先：文京区男女協働子育て支援部保育課保育係

電話 03-5803-1189

mail : b311500@city.bunkyo.lg.jp

### 保護者メーリングリストご参加のお誘い

保護者の森さんが、委員会開催情報や要望などの意見を交換できるようにメーリングリストを作られました。

保護者むけメーリングリストに参加希望者は、森 英記さん [saxomori@mvc.biglobe.ne.jp](mailto:saxomori@mvc.biglobe.ne.jp) までご連絡下さい。すでに40人近くの方がご登録いただいています。

